

# 変わる 東アジアの社会

第69回 公開講座

Musashi Univ.

平成30年

・9月22日(土)・29日(土)・10月13日(土)・20日(土)

会場▶本学1号館1階1101教室 時間▶13:30~15:30(全4回) 定員▶先着250名

コーディネーター 永田 浩三(本学社会学部教授)

第1回

9/22(土)

## グローバル化のなかの中国社会

—女性たちのさまざまな声からとらえる—

講師 大橋 史恵(本学社会学部准教授)

第2回

9/29(土)

## 香港を耕す

—農から見える都市の未来—

講師 安藤 丈将(本学社会学部准教授)

第3回

10/13(土)

## 济州島4・3事件から70年

—在日社会とメディアの可能性—

講師 永田 浩三(本学社会学部教授)

第4回

10/20(土)

## 変わりゆく東アジア国際関係と人々の結びつき

—見えない「国際」結婚に着目して—

講師 林 玲美(本学社会学部准教授)

許可なく転載することを禁止します。

【受付期間】平成30年8月3日(金)~9月6日(木)

【受講料】全4回 2,000円(一般)

500円(武蔵大学在学学生父母、武蔵学園卒業生)

無料(高校生、在学生\*、後援会会員)

\*在学生とは、武蔵大学の学生、大学院生、科目等履修生、  
研究生、練馬区特別履修生を指します。

【支払方法】受講初回に、会場の受付にて現金でお支払いください。

【申込方法】裏面をご覧ください。



MUSASHI  
UNIVERSITY

# 武蔵大学

経済学部

人文学部

社会学部

9/22(土)

グローバル化のなかの中国社会——女性たちのさまざまな声からとらえる——  
講師：大橋 史恵（おおはし ふみえ）本学社会学部准教授

2009年お茶の水女子大学大学院博士後期課程修了。博士(学術)。2015年より現職。著書に『現代中国の移住家事労働者——農村-都市関係と再生産労働のジェンダー・ポリティクス』(御茶の水書房 2011年、第31回山川菊栄記念婦人問題研究会奨励金受賞)、共著に『中国ジェンダー史研究入門』(京都大学学術出版会、2018年)等。

今日の中国では、急速な経済発展の影で、格差の拡大やマイノリティへの差別などさまざまな社会問題が浮上っています。その状況は、かつて社会主義体制のもとで「天の半分を支える」と言われていた女性たちに、より深刻なかたちでのしかかっているとされています。本講義では、改革開放路線の導入以来の40年間の中国社会の変動において、女性たちが地域間の差異や社会階層上の差異をどのように経験しているのかを考えていきます。

9/29(土)

香港を耕す——農から見える都市の未来——  
講師：安藤 丈将（あんどう たけまさ）本学社会学部准教授

オーストラリア国立大学アジア太平洋研究学院修了(Ph.D. アジア太平洋研究)。2013年より現職。日本と北東アジアにおける社会運動と民主主義を農に注目して研究している。著書として、『ニューレフト運動と市民社会』(世界思想社)。Japan's New Left Movements (Routledge)。『出来事から学ぶカルチュラル・スタディーズ』(共編著、ナカニシヤ出版)など。

観光と金融の都市として知られる香港。食料自給率がゼロに近いこの都市で、近年、新たに農を営む人びとが現れています。彼らは、なぜ、土を耕し、種をまき、作物を育てているのでしょうか。返還後の社会の変化と社会運動の展開を追いながら、農民たちの選択の背景に迫っていきます。また、香港の事例は、東京を生きる私たちに何を教えてくれるのでしょうか。講義の最後に、近年における食と農の社会学研究の成果をもとに、都市の未来を考えます。

10/13(土)

濟州島4・3事件から70年——在日社会とメディアの可能性——  
講師：永田 浩三（ながた こうぞう）本学社会学部教授

元NHKプロデューサー。著書に『NHKと政治権力』(岩波現代文庫)『ヒロシマを伝える』(WAVE出版)『ベン・シャーンを追いかけて』(大月書店)など多数。近編著に『フェイクと憎悪』(大月書店)。『60万回のトライ』共同プロデューサー。『表現の不自由展』共同代表。『横浜事件と言論の不自由展』共同代表。

長らく韓国社会のタブーであった「済州島4・3事件」から70年。痛ましい虐殺事件にどんな「正しい名前」を冠すればよいのか、歴史の見直しが始まっています。この動きの陰には、在日社会の多くの人びとたちの努力があります。一方、これと連動しているのが公営放送を中心としたメディアの民主化であり、それを支持する圧倒的な市民の声です。韓国・在日社会で何が起き、日本の市民社会にどんなヒントがあるのかを一緒に考えましょう。

10/20(土)

変わりゆく東アジア国際関係と人々の結びつき——見えない「国際結婚」に着目して——  
講師：林 玲美（りむ よんみ）本学社会学部准教授

東京生まれ。2010年6月にニューヨーク市立大学グラデュエイトセンターよりPh.D.(社会学)取得。2017年4月より武蔵大学社会学部社会学科准教授。共著に『まぼろしの「日本的家族」』(青弓社2018年)、Diaspora without Homeland: Being Korean in Japan (University of California Press 2009)、単著論文に“Korean Fan Dance for Fun: Performing Alterity in Contemporary Japan,” Ethnos: Journal of Anthropology 80 (2): 192-222等。

近現代以降、日本と近隣アジア諸国との関係は対等かつ友好にもとづくものではありませんでした。アジアの国境を越えた人流も加速し、ポピュラー・カルチャーも国境を越えて盛んに消費されていく一方で、時に国際的に緊張が高まる関係が今日も続いています。日本人と在日コリアンの見えない「国際」結婚の変遷を追いながら、日常生活にねざした人々の結びつきに東アジアの国際関係がどのような影響をもたらしているのか検証していきます。

## お申し込み・受講に関するご案内

PC専用申し込みサイトより  
お申し込み

▼  
<http://www.634.co.jp>

FAX、メール、郵送によりお申し込み

▼  
下記の①～⑥を明記の上、  
申し込み先まで送信(郵送)してください。

- ①第69回公開講座「変わる東アジアの社会」
- ②氏名(フリガナ) ③郵便番号・住所 ④電話番号
- ⑤FAX番号(ある方)
- ⑥申込区分(一般、本学在学学生父母、本学園卒業生、本学園後援会会員、本学在学学生、高校生)

### ●注意事項

(ア)いったん納入された受講料はお返しできません。(イ)講師の病気その他やむを得ない事情により、講師の変更、講義を延期または中止することがあります。(ウ)緊急(休講等)の連絡をすることがありますので、申し込み後、住所あるいは電話番号等の変更があった場合には、速やかにご連絡ください。(エ)講義に支障をきたすような行為があった場合には、会場から退出していただくことがあります。(オ)本学には駐車スペースがありませんので、お車・バイク等のご来場はご遠慮ください。

### ●個人情報の取り扱いについて

武蔵大学公開講座受講者の個人情報は本学の個人情報保護方針に従って厳重に管理し、武蔵大学公開講座の運営並びに本学からの各種講座のお知らせ及び統計的集計を行う目的以外に使用することはありません。今後、本学からの各種講座の案内を希望されない場合は、お手数ですが、武蔵大学 大学庶務課(03-5984-3713)までご連絡ください。

※本学在学学生、高校生の方は、当日学生証または生徒証をお持ちください。  
※お申し込み時点で定員に達している場合は、こちらからご連絡いたします。  
※携帯電話でメールを送る場合、ドメイン指定受信をしている方は、申し込み先アドレスを受信するドメインに設定してください。  
「受付票」は9月14日頃発送いたしますので、当日お持ちください。

お問い合わせ  
お申し込み先

(株)武蔵エンタープライズ

〒176-8533 東京都練馬区豊玉上1-26-1 (武蔵大学内)

FAX: 03-5984-3787 E-mail: kouza@musashi.ac.jp

TEL: 03-5984-3785

URL <http://www.634.co.jp>



MUSASHI  
UNIVERSITY